

観光施設メディアラボ

公益社団法人国際観光施設協会編



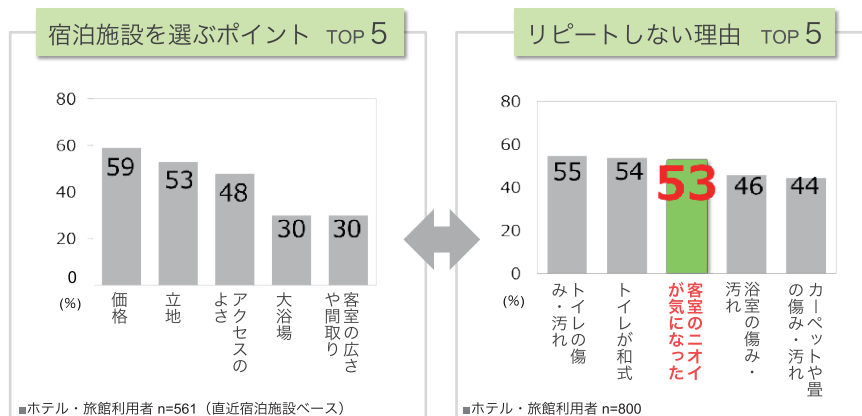
(株) LIXIL
LIXIL WATER TECHNOLOGY JAPAN
タイル事業部 タイル開発部 材料開発グループ
戸部 真太郎

“魅力ある宿泊施設”として例えば、『駅から近い利便性』、『高級感や贅沢といった非日常性』や、『バリアフリー・キレイな水まわり・優れた空気環境の快適性』等があると思います。旅行者の実態を探るため、20～79歳の男女に観光目的での宿泊施設利用に関してアンケートを行ないました。その中から空気環境、ニオイを中心にご紹介します。

■宿泊施設を選ぶポイントTOP5とリピートしない理由TOP5 (図1)

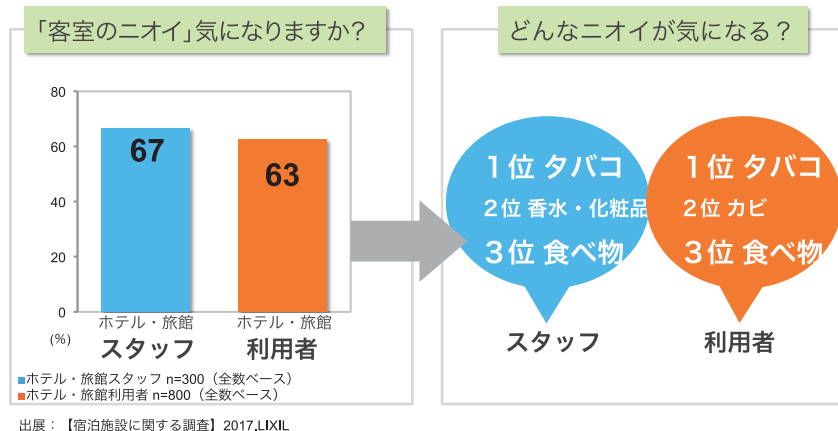
選ぶポイントの1位は価格、2位は立地、3位はアクセスの良さ、そして大浴場、客室の広さや間取りと続きます。一方で、このホテルや旅館の設備についてリピートしないと考えるものでは、1位はトイレの傷み・汚れ、2位もトイレが和式、3位で客室のニオイが気になったことが理由に挙がっています。4位に浴室の傷み・汚れと、水まわりや客室のニオイはリピート利用に

図1 宿泊施設を選ぶポイントとリピートしない理由



出典：『宿泊施設に関する調査』 LIXIL 2017

図2 どんなニオイが気になるか？



出展：【宿泊施設に関する調査】2017.LIXIL

対して影響が大きいことが分かります。

■リピート利用の影響度が高かったニオイについて (図2)

客室のニオイが気になるかをスタッフと利用者に聞いたところ、【よく気になる・気になる・たまに気になる・気にならないことはない】の選択肢のうち、スタッフで67%、利用者で63%が気

計値)と答えており、たまに気になると答えた方まで合わせると両者とも9割以上が気にしている状況でした。

では、どんなニオイが気になったか？と聞いてみると、1位はスタッフ・利用者ともにタバコ。2位3位は、スタッフでは香水や化粧品のニオイ、前に泊まった利用者が持ち込んだ食べ物のニオイ。利用者では、客室に染み付いたカビのニオイ、持ち込んだ食べ物のニオイという結果でした。

ホテル客室の内装環境の保全 機能性内装壁材の提案

公益社団法人国際観光施設協会 技術委員会 ホテル都市分科会
 (株) LIXIL LIXIL WATER TECHNOLOGY JAPAN タイル事業部 タイル開発部 材料開発グループ

戸部 真太郎

■気になるニオイを低減

機能性内装壁材でこれらのニオイを低減できないか？を、気になるニオイ1位のタバコと、3位の食べ物、今回はキムチを選び、某ホテルのご協力のもと、客室にて検証試験を行ないました。機能性内装壁材としてはエコカラット(株) LIXIL) を用いています。エコカラットはナノサイズの孔を大量に持つことで、ニオイの吸着性能や調湿性能を持っています(図3)。

検証試験では、チェックイン後に、ある部屋ではタバコ10本喫煙する、別の部屋ではキムチ320gを食べることを想定し、翌日のチェックアウト時に臭気濃度(臭気のある気体を、無臭空気で希釈し、ニオイが感じられなくなった希釈倍数、数字が大きほどニオイが強い)とニオイ容認率(そのニオイを受け入れられる人の割合)の確認しました。この検証試験をエコカラットの施工前と施工後で比較調査しました。

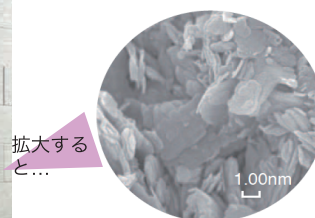
タバコ臭(図4左)は、エコカラットの施工前後で臭気濃度は約半分となり、におい容認率は20%以上増加しています。キムチ臭(図4右)では、施工前後で臭気濃度は80%低減、におい容認率は20%弱増加していることが分かります。

このように、ニオイのストレスを低減するために、機能性壁材を用いることも対策の一つの方法だと考えています。

図3 エコカラット



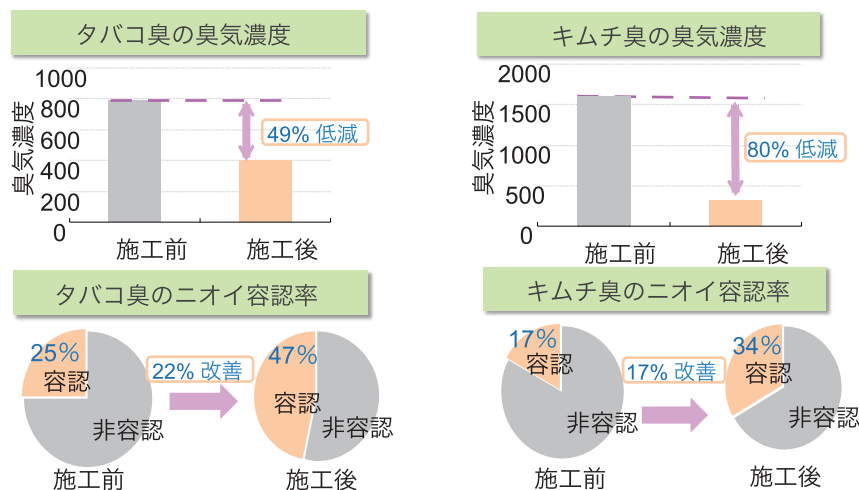
エコカラットの施工例 (ECO-315/VSR-2)



拡大すると...

ナノサイズの孔を大量に持つことで、ニオイの吸着性能や調湿性能を有しています。

図4 施工前後での試験結果



*試験結果は当社試験によるものです。部屋の使用条件・気象・換気などの環境条件によって異なります。
 *ご紹介した調査概要は下記になります。

【宿泊施設に関する調査】インターネット調査/2017.LIXIL

●利用者：1年間にプライベートで国内ホテル(シティ・ビジネス・リゾート)に宿泊した20~79歳男女、n=600(回答者数)、旅館に宿泊した20~79歳男女、n=200(回答者数)

●スタッフ：国内ホテル(シティ・ビジネス・リゾート)・旅館に勤務する20~69歳男女のうち、フロントクラ-

ク・ハウスキーピング・客室係・支配人・施設管理(設備・清掃)等に従事している人、n=300(回答者数)

*エコカラットは、通産省工業技術院名古屋工業技術研究所(現独立法人産業技術総合研究所 中部センター)共同開発商品です。

*ご紹介した試験結果は、弊社試験結果であり、使用条件、気象・換気などの環境条件によって異なります。